

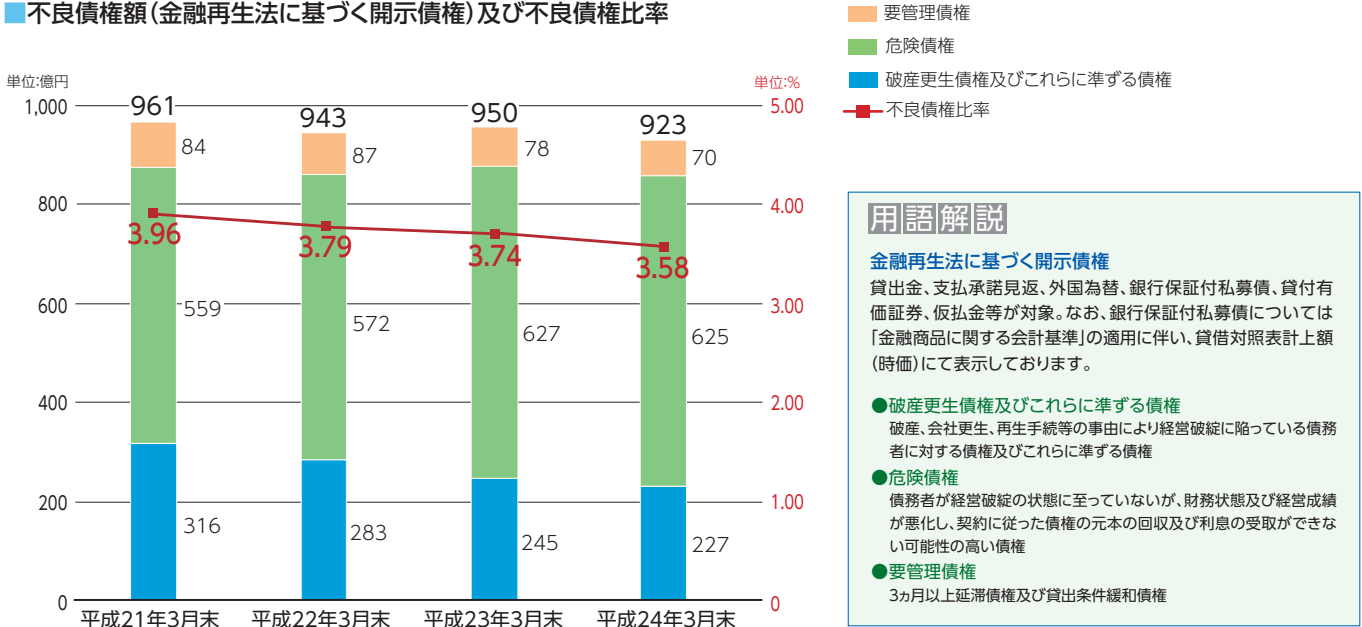
# 不良債権の状況 ~紀陽銀行単体~

## 不良債権(金融再生法開示債権)

事業の再生支援、経営改善支援による債務者区分のランクアップなどにより不良債権削減に努めた結果、平成24年3月末の不良債権比率は、前期末比0.16%低下し、3.58%となりました。

また、不良債権残高は、前期末比27億円減少の923億円となりました。

### 不良債権額(金融再生法に基づく開示債権)及び不良債権比率



### 用語解説

#### 金融再生法に基づく開示債権

貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、貸付有価証券、仮払金等が対象。なお、銀行保証付私募債については「金融商品に関する会計基準」の適用に伴い、貸借対照表計上額(時価)にて表示しております。

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権  
破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権
- 危険債権  
債務者が経営破綻の状態に至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権
- 要管理債権  
3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

## 不良債権(金融再生法開示債権)の保全状況

(平成24年3月末現在)

平成24年3月末の不良債権総額923億円のうち、84.5%は引当金や担保・保証により保全されております。

(単位:億円)

区分	与信残高	担保・保証等			引当額	未保全額	保全率	
		優良担保 優良保証	不動産担保	その他				
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	227	207	147	32	27	20	—	100.0%
危険債権	625	408	265	92	49	110	106	82.9%
要管理債権	70	25	0	25	0	8	36	48.5%
金融再生法開示債権合計	923	641	413	150	77	139	143	84.5%
正常債権	24,865							
総与信	25,789							

※優良担保：預金、有価証券等  
※優良保証：政府、信用保証協会、金融機関、上場有配会社等による保証

## リスク管理債権の状況

(単位:億円)

リスク管理債権	平成21年 3月末	平成22年 3月末	平成23年 3月末	平成24年 3月末	平成23年3月末対比
	破綻先債権	80	59	39	27
延滞債権	781	784	828	823	▲ 5
3か月以上延滞債権	7	4	0	—	0
貸出条件緩和債権	77	83	77	70	▲ 7
合計	947	932	946	921	▲ 25

(単位:億円)

貸出金残高(末残)	平成21年 3月末	平成22年 3月末	平成23年 3月末	平成24年 3月末	対比
	23,856	24,515	25,051	25,462	411

(単位:%)

貸出金に占めるリスク管理債権の割合	平成21年 3月末	平成22年 3月末	平成23年 3月末	平成24年 3月末	対比
	3.96	3.80	3.77	3.62	▲ 0.15

※リスク管理債権：貸出金が対象